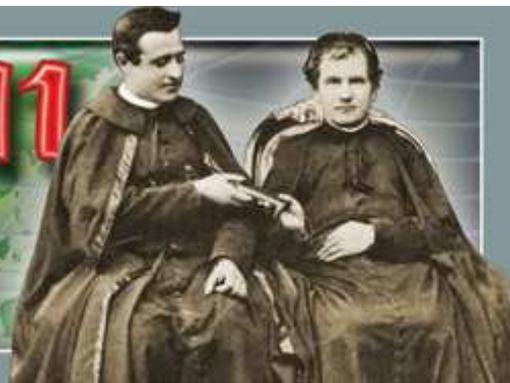


CAGLIERO¹¹

カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.65 - 2014年5月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



総長は宣教師の応募を待っています!

会

員の皆さん、友人の皆さん!

5月がやってくるたびに、私たちサレジオの宣教師の心は、サレジオ・ミッション発祥の地、ヴァルドッコの扶助者聖母大聖堂へと真っすぐに向かいます。大聖堂は、今や144回を数えるサレジオの宣教派遣を、喜びをたたえ、静かに証言しています。同時に、24日、私たちは心を尽くして全教会と共に、「中国のための世界祈りの日」、中国唯一の全国的な聖母巡礼地、余山Sheshangの聖母の祝日にあずかります。少なくとも霊的に、この二つの聖母の巡礼地への巡礼を歩み、より広く惜しみない宣教の心を、特にドン・ボスコのサレジオ会員のために願いましょう。

「キリスト者の助け聖マリアの生ける記念」FMAの総長、マザー・イヴォヌス・ランゴアは会員に緊急な呼びかけを行っていますが、それはすべてのサレジオ会員にも当てはまります。「今日、主がひきつづき扶助者聖母の娘たちを呼んでおられると私は確信しています。サレジオのカリスマを待ち望む人々のいる世界の多くの場所へ派遣されるため、開かれた心を持つようにと主は呼んでおられます。すべての人へと遣わされる宣教師への応募は、なぜこれほど少ないのでしょうか？ 私は毎日、その手紙を待っています!」(書簡944, <http://www.cgfmanet.org>)

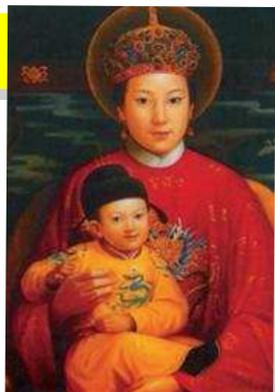
ドン・ボスコの第10代後継者アンヘル・フェルナンデス・アルティメ神父も待っています……!

勇気を出してください! 実り豊かな扶助者聖母の月を、皆さんにお祈りします!



J. Basanes

宣教顧問
ギジェルモ・バサニェス神父



中国のためのキリスト者の助け聖マリアへの祈り

聖なるおとめ、キリスト者の助けキリストの母、中国の守護者、導き手なるマリアよ、母なるあなたの世話にゆだねられた教会のため、中国の民と若者たちのために取り成してください。

御父の愛の計画を知りたいという願い、キリストの福音を受け入れる勇気、聖霊のうちに成長しようとする意向を、すべての人のうちに満たしてください。

あらゆる悪を、あなたの子らから遠ざけてください。物質主義や宗教的無関心から子らをお守りください。あなたの子らのうちに、神のみ国に忠実に仕える聖なる召し出しを興してください。

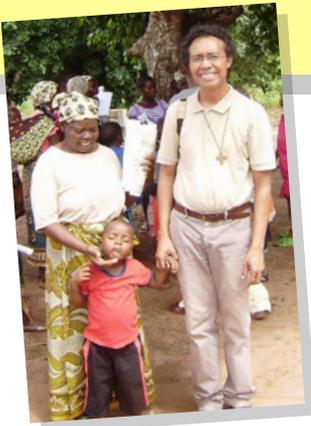
父ドン・ボスコが予見した奇跡を信頼のうちに待つ私たちにもまた、ドン・ボスコと同じ深い信仰、霊魂への情熱と渴きをお与えください。私たちが、自分たちのカリスマに、また貧しい見捨てられた若者たちを優先することに、忠実なものとなりますように。

夢見る勇気、挑戦する大胆さ、愛の行いにおける知恵、使命に全面的に献身するための堅忍、あなたご自身の清さを映す清い生き方を、私たちにお与えください。

カナで御子の時を早められたように、今、同じように母の配慮を示したいという切なる御心を表し、あなたの御子に聞き従う自由、平和、喜びを味わう日がすみやかに来るように、あなたの民のために取り成してください。

父と子と
聖霊のみ名によって。アーメン。

モザンビークで、キリストのみ顔と幸せを見つけた!



私は東チモールに生まれました。私の宣教師としての召命は、家庭に根ざしたキリスト者としての体験の実りです。私は家庭で、神への愛と信仰のすばらしい模範をもらいました。また、東チモールの宣教師で私の霊的指導者であったアルフォンソ・マリア・ナチュエル神父を私はとても尊敬していました。1992年5月24日、扶助者聖マリアの祝日に、アルフォンソ神父様はサレジオ会員としての修道奉獻60周年を祝っていました。ちょうどその時、宣教顧問のルチアノ・オドリコ神父がチモールを訪れていました。このとき私は、扶助者聖マリアに深い信心を持つ自分の霊的指導者への美しい贈りものとして、海外宣教に生涯身を献げるといふ直観を与えられました。こうして私は、奉納のとき、宣教師として派遣してほしいと願う総長あての手紙を祭壇に持っていきました。その後の初

期養成の年月の間、祈りと識別を通して、この宣教師になる望みを養うようにしました。1995年、ポスト・ノビスの後、実地課程の最初の年に入るため、私は東チモールに帰り、翌年、第126回宣教派遣の一員として、モザンビークに赴くため、総長ファン・ベッキ神父より宣教の十字架を受けました。

もちろん、東チモールのサレジオ会には大きなニーズがあります。しかし、東チモールではサレジオのカリスマがすでによく根づき、文化受容されています。私たちは本当に多くの宣教師を与えられてきました。ですから、この宣教師たちの労働の実りである私たちも、会の宣教の必要のために自らを献げることが、必須のことでもあるのです。また、自分がサレジオ会召命を無償の賜物として神から頂いたことにも気づき、この召命を喜びをもって生き、人々と分かち合うように努めています。

宣教師としてモザンビークで働いて18年になりました。この小教区で実地課程を2年過ごしました。叙階後はずっと職業訓練校で働いています。毎日、若者たちの中において、生きることの意味と神への彼らの飢え渴きを、理解するようになりました。若者たちのただ中において、私はキリストのみ顔と自分の幸せを見つめました。自分の最善を尽くし、サレジオの心で若者に仕えようと、いつも努めています。しかし同時に、心から言います。「私たちは取るに足りない僕です。なすべきことを果たしたにすぎません」(ルカ17・10)!

サレジオの宣教召命を識別しているサレジオ会員には、3つの言葉を贈りたいと思います。神があなたを遣わそうとされる場所へ行くために、自由、寛大さ、勇気を!



東チモール出身、モザンビークの宣教師
アドルフォ・デ・ジェスス・サルメント神父



サレジオ会の宣教の意向

東アジア-オセアニア地域の中で、中国の福音宣教のため

すべての弟子の模範、母であられるマリアが、キリスト者共同体の成長を通して、中国の教会と共に歩んでくださいますように。

この60年にわたる中国のキリスト教諸教会内外のさまざまな問題にもかかわらず、キリスト者共同体が大きく成長したことを、神に感謝します。1949年までは、プロテスタントの信者は100万人、カトリック信者は300万人しかいませんでしたが、現在、公式の統計によるとプロテスタントの信者は2千万人、カトリックの信者は500万人いるとのこと。中国当局に登録されていない、“非公式”の教会に所属するキリスト教信者は、さらに5千万人に上ります。数多くの神学生、修道者、中国人司祭が、国を出て東アジア-オセアニア地域、韓国、日本、台湾、フィリピンで学んでいます。EAO地域の各地の教会が、この偉大な民族の霊的、文化的な遺産を認識しながら彼らに寄り添い、中国の兄弟姉妹の養成を支援し、信仰に堅忍するよう助けるのは大切なことです。

